

## 三次市立三次小学校 授業実践

○学年・教科 第3学年 算数科

○単元 「三次探検隊への道 ～小数丸分かり本を作ろう～」

○本時の目標 ・位に着目したり、数直線に数を表したりする活動を通して、小数の大小比較においても、整数の時と同じように比べられることを理解することができる。

○事前の研修から

<予想される児童のつまずき>

- ・小数と整数で比べる場面で、正しく位取り表に数を記入できないのではないか。
- ・0.1のいくつ分が答えられないのではないか。

<イメージ化の手立て>

- ・「0.1シート」を使って、0.1のいくつ分が視覚的に分かるようにする。
- ・ノートにあらかじめワークシートや数直線を貼っておき、学習したことが視覚的に理解しやすいようにする。

<伝え合いの手立て>

- ・あえて誤答を提示し、説明したくなる場面を作った。

○授業について

- ・三次市の特産品である「鮎」を題材として、鮎（成魚）の大きさ比べからスタート！



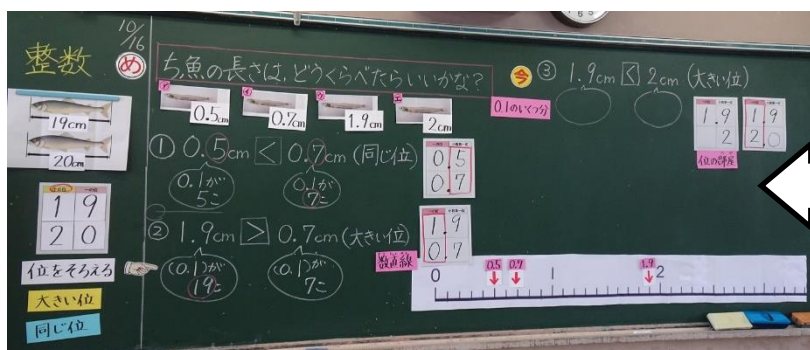
29cmと30cm  
では、30cmの方が  
長いです。  
なぜなら…

整数の比べ方を確認。

⓪ 位をそろえる、大きい位で比べる

- ・稚魚の大きさも、整数と同じように比べられるかな？

全員が授業に主体的に取り組めるように、TT  
指導を導入。



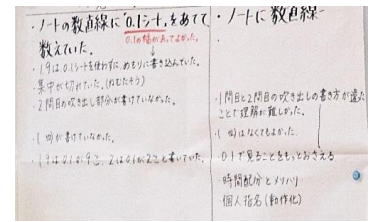
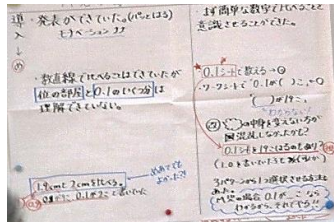
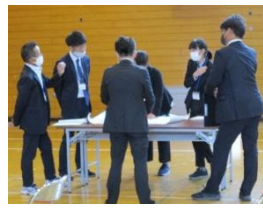
小数同士の比べ方を3つの方法で検証。

- ①位で比べる
- ②数直線で比べる
- ③0.1のいくつ分で比べる

どの方法でも同じ結果になりました。

小数と整数の比べ方も同じように比べた  
らいいことが分かりました。

○授業後の協議会



児童の学びの姿を、グループごとに交流し、本時の手立てが有効であったかを協議しました。

<有効だった点>

- 教材が児童の実態に合っていた。総合的な学習の時間で学んでいる題材だったため、児童の興味関心を高めることができた。
- 0.1 のいくつか分かが視覚的に分かるように、「0.1 シート」を活用していた。使うか使わないか児童が選択できていた。

<改善点>

- 児童が比べ方を選択できる展開にしても良かった。
- ワークシートの記入でつまずいている児童がいたため、もっと分かりやすく問うワークシートにしても良かった。

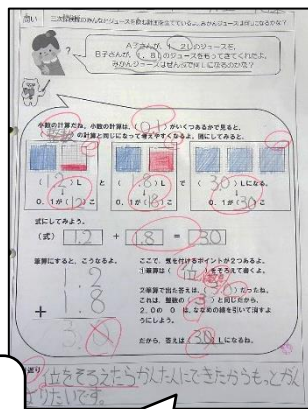
○単元のゴール

実行・振り返り

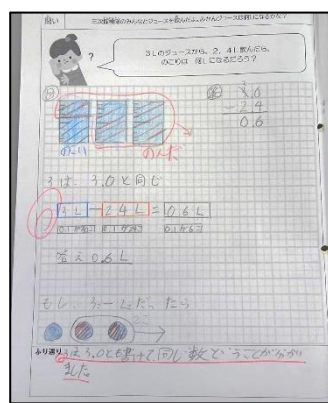
- 単元の終わりに、「小数丸分かり本」を作成する時間を設定。
- ワークシートを児童に選択できるような形式にしたことで、児童は主体的に「小数丸分かり本」を作成することができた。
- 作成した「小数丸分かり本」は、総合的な学習の時間のファイルに綴じておき、「唐麺」について学習する際に、いつでも学習内容が振り返られるようにする。



集合写真を撮り、表紙にしました！



穴埋め式のワークシート



自分の好きなまとめ方で書けるフリーページ。点を用いてまとめる児童もいました。

